

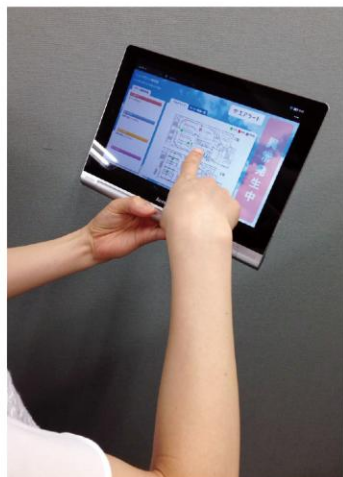
年末に向けて
導入したい

新製品
特集!

【株】インターディメンションズ

タバコのニオイを見える化! 快適空間づくりに待望の新製品

快適環境監視ツール「エアラート」



データは、インターディメンションズがインターネット上に設けたサーバーで管理。導入店舗の関係者は、手元のスマホやタブレットで検知情報を確認できる



「エアラート」は子機にあたる小型センサーと親機（1台）で構成。センサー設置の目安は、500台規模の店舗で8台。また、センサーは妻板や幕板に両面テープで設置できる軽量設計。検知した情報は無線LANで親機へ中継されるため、大掛かりな工事の必要がない。なお、センサーの色は白・黒・黄・オレンジ・ブルーの5色

近年

年、ECOホール作りの一環として、温度計や湿度計を店内の随所に設置し、温度と湿度の見える化に努めるホールが増えていく。今回、その温度・湿度のみならず、タバコのニオイの見える化も実現してくれる新製品が登場した。

「エアラート」は専用の小型センサーを島の妻板や幕板などに設置し、温度・湿度、および空気中に漂うタバコのニオイ成分の濃度レベルを検知。そのデータをインターネット上の同社サーバーで管理し、当該ホールは、本社や店舗の事務所のパソコンはもとより、店長や従業員の手元のスマートフォンやタブレットなどでリアルタイムに確認共有できる。

また、温度・湿度の場合は上限・下限の設定ができ、それを上回ったり、下回ったりすると、パソコンや手元のタブレット画面に警告表示が。タバコのニオイは、濃度が10段階のグラフ状態で表示されるのだが、事前に設定しておいたレベルを超えると、やはり警告表示される。

さらに、データはすべて保存され、いつでも過去の履歴の検証が可能。同システムには、他業界で培われた同社グループの技術が凝縮されている。

「当社のグループ会社が開発し

たシステムに、一人暮らしの高齢者を家族が遠隔地から見守る「いまイルモ」(※)というものがあ

るのですが、そのシステムで使われている多機能センサーのノウハウが「エアラート」には生かされています」と荒木取締役。

そのセンサーの技術に、騒音など、目に見えないもの見える化に取り組み、ほかのグループ会社のノウハウが融合し、生まれたシステムが「エアラート」なのだ。

「一方、当社は、セキュリティカメラやデジタルサイネージの販売を通じて、以前からパチンコ業界とは接点がありました。そして、タバコ対策は業界の重要なテーマなので、ホールの方々に提案していくことになったのです」

タバコのニオイは、独自の基準値を設けて数値化しているとのこと。この夏よりフィールドテストをしているホールからは、「警告表示された島周辺は、スタッフの一部でもタバコくさいとされていくところ。でも、議論が広がらなかった。その点、『エアラート』は客観的データを示してくれるので、問題意識の共有化が図りやすい」との声が挙がっている。

快適な遊技空間作りのパートナーとして、十分注目に値する製品ではないだろうか。

(※)経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」補助事業として採択されている。